

◆宇宙誕生の謎を解く研究施設「ILC」の脊振地域への誘致について

Q	世界でただ一つの基礎科学の拠点が誕生し、福岡が国際学術研究都市として大きく発展し、先端成長産業の創出、地域の活性化が期待できる。脊振地域への誘致に対する知事の認識と、今後の取り組みを問う。
A	地元経済界を巻き込んだ活動をもっと盛んに行う必要があり、今後、活動体制の在り方について、関係機関と協議を進める。
Q	このプロジェクトは、福岡の50年後のグランドデザインの根幹をなすものであり、誘致に対する知事の責任は重い。ILC計画実現の意義と知事の決意を問う。
A	世界中から数千人を超える研究者、技術者などが居住し、最先端の科学技術発信拠点となり、研究者と住民の交流を通じて、アジアでも類を見ない文化・学術交流機能を兼ね備えた国際研究都市が形成できる。佐賀県とともに九州の産学官が一体となって、人類にとって偉大な飛躍となる発見が、脊振地域から全世界へ発信できるように取り組む。

◆県営住宅における高齢者対策について

Q	高齢化が進むなか、中層住宅のエレベータ設置について、もっとスピード感のある取り組みが必要であると考えがどうか。
A	エレベータ設置に関する合意形成が整った住棟にエレベータを設置する。エレベータ設置と合わせて、水回りの改善のモデル事業も来年度行う。
Q	親の面倒をみる子供世帯が、親と同じ団地に優先的に入居できる制度が必要と考えるがどうか。
A	高齢の親の介護のため、同一団地内への住居を希望する子どもの世帯や介護を受ける親の世帯を対象に優先的に入居できる制度を今年度中に施行し、県営住宅の高齢者対策をソフト及びハードの両面から進める。

◆福岡県産農産物販売促進に向けたブランドの保護について

Q	品種が海外へ流出し、海外で生産、消費、輸出されている事はないか
A	事実の確認は出来ていない。
Q	品種や商標など知的財産を保護が重要と考えるが、県の対応はどうか。い。運用面での工夫はできないか。
A	国内外の激しい競争を勝ち抜くために、県産農産物のブランド化を進めている。県独自品種の品種登録や商標登録を行い、保護を行っていく。